

やまなしの国保

春号

発行所 山梨県国民健康保険団体連合会

山梨県甲府市蓬沢 1-15-35(山梨県自治会館 4 階)

TEL:055-223-2111

<https://www.ymnkokuho.or.jp/>

目次

- 【トピックス】
第 105 回山梨県国民健康保険団体連合会通常総会
- 健康長寿推進課通信
—地域をつなぐ「移動式地域食堂」の可能性—
- 連合会ニュース
- 健康まつり支援事業報告



令和8年2月27日(金)に県自治会館 1階講堂にて第105回国保連合会通常総会を開催した。

29会員の出席(委任状を含む)のもと、令和8年度事業計画並びに各会計予算等が審議された。

この日審議されたのは、報告事項1件、議決事項28件となり、提出案件全てが原案どおり承認・可決された。

理事長挨拶

金丸一元理事長(南アルプス市長)



国保制度は、医療の高度化や医療費増加により大変厳しい状況にあり、将来に向けて持続可能な制度としていくことが強く求められている。

そのため、国では、「全世代型社会保障」の構築に向けた改革に取り組んでおり、特に医療分野においては、医療DXの推進を通じた「質の高い医療の提供」と「制度運営の効率化・持続可能性の確保」を重要な柱とした取り組みを進めている。

こうした状況を踏まえ、当連合会においても、事業運営の確実性を維持しつつ、業務の在り方を不断に見直すことが、これまで以上に必要であると認識している。

特に、市町村や当連合会などが使用する「審査支払システム」などの情報システムについては、クラウド化や最適化を進め、保守運用コストの低減を図っていくことが、喫緊の課題となる。

そこで、当連合会では、随時、システムのクラウド化などに取り組み、今後とも物価高騰や為替変動などの影響を極力回避し、コスト低減効果を最大限発揮させて参りたい。

報告事項

報告第1号 監事の選任について

議決事項

議第1号	山梨県国民健康保険団体連合会規約の一部を改正する規約の制定について	議第7号	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(支払勘定)歳入歳出予算補正(第2号)について
議第2号	山梨県国民健康保険団体連合会予防接種委託料支払規則の制定について	議第8号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会事業計画について
議第3号	山梨県国民健康保険団体連合会予防接種法関係業務等特別会計経理規則の制定について	議第9号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算について
議第4号	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正(第3号)について	議第10号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)歳入歳出予算について
議第5号	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第2号)について	議第11号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出予算について
議第6号	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第2号)について	議第12号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出予算について

議 決 事 項

議第13号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)歳入歳出予算について	議第21号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(支払勘定)歳入歳出予算について
議第14号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会特定健診等業務特別会計歳入歳出予算について	議第22号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会重度心身障害者医療費集計業務特別会計歳入歳出予算について
議第15号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会国民健康保険診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出予算について	議第23号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会予防接種法関係業務等特別会計(業務勘定)歳入歳出予算について
議第16号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会公費負担医療に関する診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出予算について	議第24号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会支払資金貸付特別会計歳入歳出予算について
議第17号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(支払勘定)歳入歳出予算について	議第25号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会職員退職手当特別会計歳入歳出予算について
議第18号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(出産育児一時金等に関する支払勘定)歳入歳出予算について	議第26号	一時借入金について
議第19号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(介護給付費等支払勘定)歳入歳出予算について	議第27号	総会の権限に属する事項を理事会に委任することについて
議第20号	令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)歳入歳出予算について	議第28号	理事会に委任された事項を理事長の専決処分することについて

令和8年度 山梨県国民健康保険団体連合会事業計画について

国民健康保険制度は、国民皆保険の要であり、地域に欠かせない医療の提供と、地域住民の健康の保持増進のため、安定的な運営が求められるとともに、将来にわたって全ての世代が安心できる持続可能な保険制度の構築が大きな課題となっている。

これらに加え、現在、国が強力に推進する保健・医療・介護分野での DX については、技術革新を通じたサービスの効率化や質の向上を目指すものであり、国民健康保険制度の運用にも大きく関わっているところである。

こうした中、保険者等においては、人口減少や被用者保険の適用拡大に伴う被保険者数の減少等により、保険料(税)収入が減少するなど保険者等の財政は依然として厳しい状況が続いている。

地域における「医療・保健・介護・福祉の総合専門機関」である当連合会としては、これらの状況を踏まえつつ、引き続き、保険者等の共同体として保険者等のニーズの把握に努め、コスト意識を持って事業展開を図るとともに、国保をはじめ、後期高齢者医療や介護保険、障害者総合支援等の円滑な運営に貢献していく。

また、様々な課題に対応していくためには、中長期的な視点に立った取り組みが必要であることから、「第7期中期経営計画」に沿って事業運営を進めることとし、その取り組み状況については、毎年度、検証・評価していく。

令和8年度は、第8期中期経営計画の策定年であることから、第7期中期経営計画の実績を踏まえ、向こう5年を見据えた新たな計画の策定を行う。

更に、健全な財政運営を図るため、一層のコスト削減に努めるとともに、時宜に即した業務の効率的・効果的な実施や新規事業の導入による財源確保を行うとともに計画的な積み立てに取り組むこととする。

しかしながら、医療 DX 推進の柱となる国保総合システムの更改や最適化など、国の意向を踏まえて実施するシステムの開発や更改とその運用に係る経費については、国保連合会が保有する積立資産だけでは不足しているため、本来、国の責任において確保するべきものであることから、引き続き、山梨県、県市長会及び県町村会等と連携し、国による財政措置の実現に向けて要請活動を行っていく。

一方、当連合会は、社会保障の一翼を担う極めて公共性の高い業務を担っており、円滑な事業運営には、保険者等のみならず、広く県民の理解の増進も必要であるため、社会的認知度を更に高めるよう情報発信を積極的に行う。

また、当連合会は、医療・健診・介護等に係る膨大で機微な情報を保有していることから、情報資産及び情報システムの適切な管理運用を行うとともに、自然災害等の際においても、保険医療機関等への支払業務等が遅延しないよう、「業務継続計画」に基づき万全な体制を確保していく。

令和 8 年度 山梨県国民健康保険団体連合会 会計別予算一覧

(単位:千円)

区 分	令和 8 年度	令和 7 年度	比較	対前年度比
一般会計	285,628	278,418	7,210	1.026
診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)	632,597	663,111	△30,514	0.954
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)	618,857	622,853	△3,996	0.994
介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)	155,293	156,279	△986	0.994
障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)	57,119	52,244	4,875	1.093
特定健診等業務特別会計	844,475	839,821	4,654	1.006
国民健康保険診療報酬審査支払特別会計 (支払勘定)	59,778,699	58,553,145	1,225,554	1.021
公費負担医療に関する診療報酬審査支払特別会計 (支払勘定)	1,986,791	1,986,764	27	1.000
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(支払勘定)	137,634,544	127,321,848	10,312,696	1.081
診療報酬審査支払特別会計 (出産育児一時金等に関する支払勘定)	252,015	252,009	6	1.000
介護保険事業関係業務特別会計 (介護給付費等支払勘定)	86,478,548	82,224,929	4,253,619	1.052
介護保険事業関係業務特別会計 (公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)	425,443	418,783	6,660	1.016
障害者総合支援法関係業務等特別会計(支払勘定)	35,212,691	31,911,164	3,301,527	1.103
重度心身障害者医療費集計業務特別会計	175,891	182,204	△6,313	0.965
予防接種法関係業務等特別会計(業務勘定)	3,818	0	3,818	—
支払資金貸付特別会計	31,601	31,559	42	1.001
職員退職手当特別会計	124,765	108,717	16,048	1.148
合 計	324,698,775	305,603,848	19,094,927	1.062

健康長寿推進課通信

認知症・地域支援担当
副主査 秋山 侑大
(あきやま ゆうだい)

—地域をつなぐ「移動式地域食堂」の可能性—

山梨県では高齢化が進む中、特に山間部や交通手段が限られる地域で、外出の難しさから孤立が進みやすい状況が課題となっています。従来のように住民に「来てもらう支援」だけではサービスが届きにくく、地域のつながりや見守り機能を維持することが難しくなっています。また、県内では一人暮らし高齢者が67,923人(令和7年4月1日)と年々増加し、高齢者人口の4人に1人を占めるまでになっています。家族や周囲の目が届きにくいことで、生活不安や健康状態の悪化に気づかれにくいケースも増えています。

こうした背景から、県では「行く支援」を強化するため、移動式地域食堂の導入を進めました。

地域食堂とは？

地域食堂とは、子ども、大人、高齢者など誰でも気軽に参加できる「地域の居場所」であり、子ども食堂を全世代に広げた取り組みです。食事をきっかけとして、地域住民が自然に交流し、互いを見守り合う関係が育まれる場として全国に広がっています。しかし山間部などでは、遠方までの交通手段や場所の確保が難しく、利用できる人が限られるという課題がありました。

移動式地域食堂は何をするのか？

県では、キッチンカーを活用して食堂の側から地域へ出向く「移動式地域食堂」を導入しました。地域の通いの場や集会所に赴き、食事の提供と交流の場づくりを一体的に行う『行く支援』です。

主な機能は次のとおりです。

◆ 食事と交流の提供

その場で作った温かい食事をみんなで囲むことで、孤食の防止や自然な交流を促します。特に男性高齢者は通いの場に参加しにくい傾向がありますが、「食事」という目的があることで参加しやすくなるという効果があります。

◆ ゆるやかな見守り

スタッフや地域の方、開催場所の店主、さらに同行する保健師など多様な“地域の目”が、「いつもより元気がない」「食べる量が少ない」など、普段との違いに気づきやすくなります。違和感があれば、地域包括支援センターにつないでいく“気づきの連鎖”が生まれます。

◆ 健康支援

保健師が同行し、血圧測定やフレイルチェック、耳の聞こえ相談などの健康相談も実施します。食事と健康支援を一体的に行うことで、健康や生活不安の軽減につながります。

◆ 多世代の交流

県立大学の学生との連携などを通じて、多世代のふれあいが生まれる場にもなっています。会話や笑顔が交わされることで、参加者の意欲や生活の活力を引き出す効果があります。結果、一人暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの実現が期待されています。

モデル事業(昭和町・富士川町)

県では、令和8年1月から6月までの期間、昭和町と富士川町をモデル地域として移動式地域食堂を展開しました。昭和町は都市部の特性を踏まえた孤立防止・見守り機能の充実を、富士川町は山間地域の支援を主なテーマに据え、それぞれの地域構造に合わせた効果検証を行っています。

モデル事業では、以下の利用した方の声が聞かれています。

- 誰かと一緒にご飯を食べられるから嬉しいね。
- ひとり暮らしだと、つい家にこもりがちになるけど、こうして来る理由ができるとうちが変わるね。外に出るきっかけにもなるし、顔見知りも増えて、安心感がある。
- 保健師さんが一緒に来てくれるから、ちょっとした体調のことも気軽に相談できるんだ。自分じゃ気づかないことも、早めに教えてもらえるから助かる。

今後の展開

モデル事業の知見を踏まえ、令和9年度からは市町村主体での展開を目指します。地域支援事業交付金等の交付金の活用を視野に、地域の実情に応じた機動的な「行く支援」を県内全域に広げていきます。

おわりに

移動式地域食堂は、単なる食事の提供にとどまらず、地域の中に人と人とのつながりを生み出し、安心して暮らせる環境を支える新しい地域支援の仕組みです。これからも県民の皆さま、地域団体、行政が連携しながら、地域に寄り添う支援を進めてまいります。



12月4日(木)

令和7年度 介護サービス苦情処理担当者実務研修会

介護保険事務に携わる職員の苦情相談業務に関する諸知識の理解を深めるとともに、介護保険事業の進展と円滑な運営に資することを目的として県自治会館研修室1・2にて本研修会を開催した。

研修会には、県、市町村介護保険事務担当者、介護保険苦情処理担当、保健福祉事務所介護保険担当者、市町村地域包括支援センター介護支援専門員等、社会福祉協議会介護支援専門員 計32名が出席した。

本会嶋田事務局次長の主催者挨拶の後、介護・保険者支援課介護・障害福祉係奥石係長が「山梨県国保連合会介護サービス苦情処理について」、長坂介護サービス苦情処理委員が「山梨県国保連合会が行った苦情処理事例の報告」の説明を行った。

続いて、「カスタマー・ハラスメントの理解と基本的対応」と題して、健康科学大学 健康科学部人間コミュニケーション学科 田村正人氏よりご講演をいただいた。



【田村正人氏の講演の様子】

12月11日(木)

令和7年度 国保健康づくり活動推進委員会

本会が保有する医療情報を活用し、保健・医療・福祉事業を行う関係機関等と連携しながら住民の健康保持増進を目指し、各市町村が実施する保健事業の在り方を検討するため、県自治会館講堂において、本委員会を開催した。

本委員会は、県福祉保健部及び保健福祉事務所並びに保健事業を担当する市町村の担当課長等が委員となり、協議を行っている。

本会小島常務理事の挨拶後、下記のとおり協議等が行われた。



小島常務理事



【報告】

保険者努力支援制度について (県福祉保健部国保援護課)

【報告事項】

- (1) 令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会保健事業実施状況について
- (2) 「山梨県国民健康保険団体連合会提供システム・データ一覧」について
- (3) 「健康づくりとスポーツに関する連携協定業務」について

【協議事項】

- (1) 令和8年度山梨県国民健康保険団体連合会保健事業実施計画について(案)
- (2) 一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ主催の運動教室等を活用した健康づくり支援事業について(案)

12月22日(月)

令和7年度 二次医療圏別研修会(中北圏域)

各保険者が、PDCA サイクルに沿った保健事業の実施及び評価の方法を理解するとともに、各二次医療圏内で効率的、効果的な保健事業の実施について情報交換や検討を行うことにより、第3期データヘルス計画の推進を図ることを目的として、北巨摩合同庁舎において、本研修会を開催した。

本研修会は二次医療圏ごと(峡南圏域、富士・東部圏域、峡東圏域、中北圏域)計4回開催している。4回目となる本研修会には、市町村の国保保健事業を担当する事務担当者及び保健師、管理栄養士等、保健福祉事務所の健康づくり担当者、後期高齢者医療広域連合担当者等計18名が出席した。

本会保健事業課保坂主幹の主催者挨拶後、始めに保健事業支援評価委員会の須田由紀委員長(健康科学大学 看護学部教授)から「データヘルス計画における保健事業の評価について」と題してご講義をいただき、「各年度における評価方法は、事業を振り返り、実施状況・時期、成功・推進要因、課題及び阻害要因を整理すること」また、「目標が達成されなかった場合は、保健事業を実施するための仕組みや体制が整備されていたか、事業の目標を達成するための実施過程が適切であったかを確認することが大切である」と述べた。

続いて、山梨県福祉保健部国保援護課大久保知香主査が「個別保健事業評価シート(保健事業カルテ)の活用」と題して講義を行った。

講義後、「個別保健事業評価シート(保健事業カルテ)について意見交換」をテーマにグループに分かれ情報交換を実施した。

「来年度、データヘルス計画の中間評価ということで不安をもっていましたが、中間評価に向けた分析方法等を知ることができて良かった。」などの意見があった。

最後に、保健事業支援評価委員会委員、保健福祉事務所の事務担当者等より、講評をいただいた。



【須田委員長の講義の様子】



【大久保主査の講義の様子】



【グループごとの情報交換の様子】

1月29日(木)

健康意識の向上及び特定健診・特定保健指導の実施率向上等に係る普及啓発 PR 事業

小瀬武道館アリーナにおいて、(一社)ヴァンフォーレススポーツクラブ主催の小学1年生以上を対象としたアジリティ&ランクリニックに参加した。

アジリティ&ランクリニックでは、敏捷性を高めるために身体の使い方を習得して、素早い方向転換ができるよう、ラダーを使ったトレーニングを実施している。

山梨県保険者協議会と本会は、参加者とその保護者を対象に、健康度測定【体組成計(体重・筋肉量等)、握力、身長、柔軟】を行った。

また、特定健診受診率の低い世代である保護者に対し、特定健診・特定保健指導の実施率向上やジェネリック医薬品使用促進に係る普及啓発のため、啓発品の配布や説明を行った。



【健康度測定の様子】

3月4日(水)

山梨県国民健康保険診療施設協議会総会

本会が事務局となっている山梨県国民健康保険診療施設協議会の総会が県自治会館研修室1にて開催された。

本協議会は、診療施設相互の緊密な関係を図るとともに診療施設医療及び診療施設事務の向上改善のための調査研究を行い、もって診療施設事業の推進を図ることを目的に設置されている。

中瀬一会長(甲陽病院院長)の挨拶後、山梨県福祉保健部国保援護課内藤浩課長から来賓のご挨拶をいただいた。

続いて、事務局から下記の項目について説明があり、審議が行われた。



中瀬会長(甲陽病院院長)



県国保援護課内藤課長

この日審議された議決事項2件は案件全てが原案どおり承認・可決された。

また、山梨県福祉保健部国保援護課保険医療担当寄特優莉主事から「国保直診に対する助成制度について」と題して、情報提供が行われた。

【議決事項】

議決第1号 令和8年度山梨県国民健康保険診療施設協議会事業計画について

議決第2号 令和8年度山梨県国民健康保険診療施設協議会歳入歳出予算について

【報告事項】

報告第1号 全国国保地域医療学会【和歌山県開催】について

報告第2号 関東甲信静地区国保診療施設協議会【神奈川県開催】について

報告第3号 地域包括医療・ケア研修会について

報告第4号 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議について

報告第5号 令和9年度関東甲信静地区国保診療施設協議会の山梨県開催について

健康まつり支援事業報告

本会は、健康づくりの啓発と健康意識の高揚を図るため、市町村健康まつり等の支援事業を実施しており、健康度測定機器等の貸出の物的支援と本会職員の出向等の人的支援を行った。令和7年度に人的支援を行った市町村は次のとおり。

開催日等

- 開催日：令和7年10月12日（日）
- 市町村名：忍野村
- 開催場所：忍野村民体育館
- 来場者：116人（健康度測定コーナー）
- 貸出機器

健康度測定機器等名

マルチ周波数体組成計
柔軟性測定
タッピング指圧代用機
高齢者疑似体験セット



- 開催日：令和7年10月18日（土）
- 市町村名：丹波山村
- 開催場所：丹波山村役場
- 来場者：25人
- 貸出機器

健康度測定機器等名

デジタル身長計
マルチ周波数体組成計
加速度脈波計（BC チェッカー）
超音波骨密度測定
唾液アミラーゼモニター



- 開催日：令和7年10月26日（日）
- 市町村名：西桂町
- 開催場所：西桂町立西桂中学校体育館
- 来場者：30人
- 貸出機器

健康度測定機器等名

体内脂肪測定<大>
加速度脈波計（BC チェッカー）
超音波骨密度測定
唾液アミラーゼモニター
全自動血圧計



- 開催日：令和7年11月9日（日）
- 市町村名：甲府市
- 開催場所：玉諸小学校体育館
- 来場者：77人
- 貸出機器

健康度測定機器等名

唾液アミラーゼモニター



開催日等

- 開催日：令和7年11月23日（日）
- 市町村名：南アルプス市
- 開催場所：南アルプス市健康福祉センター
- 来場者：143人
- 貸出機器



健康度測定機器等名

マルチ周波数体組成計

加速度脈波計（BC チェッカー）

超音波骨密度測定

- 開催日：令和7年12月13日（土）
- 市町村名：山梨市
- 開催場所：山梨市役所東館
- 来場者：49人
- 貸出機器



健康度測定機器等名

食育 SAT

- 開催日：令和8年2月7日（土）
- 市町村名：富士河口湖町
- 開催場所：勝山ふれあいセンター
- 来場者：50人
- 貸出機器



健康度測定機器等名

超音波骨密度測定

- 開催日：令和8年2月14日（土）
- 市町村名：笛吹市
- 開催場所：春日居福祉健康センター
- 来場者：50人
- 貸出機器



健康度測定機器等名

マルチ周波数体組成計
